

呉工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)	授業科目	ドイツ語
科目基礎情報					
科目番号	0025	科目区分	一般 / 選択必修		
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	建築学科	対象学年	4		
開設期	通年	週時間数	2		
教科書/教材	齊藤公輔『どいちゅ』朝日出版社、2016年				
担当教員	西谷 明子				
到達目標					
1. あいさつを覚える。 2. 自己紹介ができる。 3. 動詞の現在人称変化を覚える。 4. 冠詞類とその変化を覚える。 5. 辞書を使って簡単な会話文を読むことができる。 6. 冠詞類とその変化に慣れる。 7. 前置詞の使い方を覚える。 8. 助動詞、分離動詞の使い方を覚える 9. 簡単な日常会話ができる 10. 辞書を使って簡単な会話文を読み、作文することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	あいさつ、自己紹介が適切にできる	あいさつ、自己紹介ができる	あいさつ、自己紹介ができない		
評価項目2	動詞の現在人称変化などを覚えることが適切にできる。	動詞の現在人称変化などを覚えることができる。	動詞の現在人称変化などを覚えることができない。		
評価項目3	辞書を使って簡単な会話文を読み、作文することが適切にできる	辞書を使って簡単な会話文を読み、作文することができる	辞書を使って簡単な会話文を読み、作文することができない		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	初めてドイツ語を学ぶ学生を対象とする。初級ドイツ語文法と簡単な日常会話を習得する。また、ドイツあるいは歴史についても理解を深める。				
授業の進め方・方法	教科書及び付属のCDを用いた講義。				
注意点	授業には毎回必ず辞書を持参すること。授業中でも授業後でも、質問があれば受け付けます。				
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	アルファベット つづりと発音	ドイツ語のアルファベットの読み方、あいさつ	
		2週	Lektion 1	A. Im Klassenzimmer、曜日	
		3週	Lektion1	B. Vorstellung、月	
		4週	Lektion1	動詞の人称変化の復習、数詞0～10	
		5週	Lektion 1	C. Auf dem Campus、数詞11～20	
		6週	Lektion 1	名詞の性、冠詞の復習	
		7週	中間試験		
		8週	答案返却・解答説明		
	2ndQ	9週	Lektion 1	D. Tandempartner	
		10週	Lektion 1	不規則動詞の人称変化、数詞20～	
		11週	Lektion 1	E. In der Mensa	
		12週	Lektion 1	定冠詞と不定冠詞の1・4格、疑問表現	
		13週	Lektion 1	所有冠詞、否定冠詞	
		14週	Lektion 1	まとめ	
		15週	期末試験		
		16週	答案返却・解答説明		
後期	3rdQ	1週	前期の復習	動詞の現在人称変化と冠詞の変化を中心に	
		2週	Lektion 2	A. In der Stadtmitte	
		3週	Lektion 2	B. Apotheke	
		4週	Lektion 2	C. In einem Laden	
		5週	Lektion 2	名詞の複数形、人称代名詞の格変化	
		6週	Lektion 2	D. Boutique	
		7週	Lektion 2	E. Teepause	
		8週	中間試験		
	4thQ	9週	答案返却・解答説明		
		10週	Lektion 2	F. Geschenk zum Geburtstag	
		11週	Lektion 2	助動詞、前置詞+3格	
		12週	Lektion 3	A. Zum Kaffee einladen	
		13週	Lektion 3	分離動詞、位置を表す前置詞	
		14週	Lektion 3	B. Coffe Baum	
		15週	期末試験		
		16週	答案返却・解答説明		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	工学基礎	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	グローバル ゼーション ・異文化多 文化理解	世界の歴史、交通・通信の発達から生じる地域間の経済、文化、政治、社会問題を理解し、技術者として、それぞれの国や地域の持続的発展を視野においた、経済的、社会的、環境的な進歩に貢献する資質を持ち、将来技術者の役割、責任と行動について考えることができる。	2	前1,前2

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0